



府省名	防衛省	部署名	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊
取組のポイント			
<p>隊員の意識改革、隊長の巡回仰指・決裁等による業務の効率化、家族の職場見学を実施すること等の総合的な取組により、やりがいと充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすことと家庭や地域活動の両立を目指したワークライフバランスを推進。</p> <p>その中で、安心して産休・育休を取得できる環境の構築に向けた、産休・育休取得者の業務を補完するための業務サポート体制「となり組」の編成や、女性職員のための授乳室の設置等を実施。</p>			
取組概要			
<p>【取組の背景】 隊は、7か所の駐(分)屯地を管理する南西唯一の業務隊であり、南西部隊(宮古・与那国・石垣)の新編部隊の立上げ・支援に伴う業務、来沖部隊に対する支援等の業務を限られた人員で円滑に推進するためにも、勤務する隊員の心身の健全性確保が必要不可欠。</p>			
<p>【取組の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 業務隊ワークライフバランス推進の基礎となる意識の改革 早く帰る、働き方を変える、人生を変えることを目的とした「カエル会議」の実施。 2 働き方改革 業務隊長の指導受け要領の改革 定時に隊長が巡回指導することで、決裁等の付帯時間が約16h/月減少。 3 心身の健康 <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み等に家族の職場見学を実施 ○ 小中学校の秋休みにキッズウィークを設定し、親子の関わりを深める機会を付与し、休暇取得を促進。 4 生活・勤務環境の改善 隊員自ら計画的に勤務環境の改善を実施。 5 女性職員活躍のための改革 女性職員用のフィットネスルーム、授乳室の設置。 6 安心を担保した両立支援 育児休業者の不安(うしろめたさ)を解消するため、当初、各人が実施している業務をチームの業務として意識改革を図った後、育休者の業務を補完するため「となり組」を編成し業務のサポート体制を確立。 			
<p>【取組の成果】 各隊員のワークライフバランスに対する意識の向上、互いを尊重し意見交換しやすい環境の醸成が図られた。また、「となり組」を編成し、業務のサポート態勢を確立したことにより、同僚に業務を任せて安心して休業できる環境が構築された。</p>			
			
【カエル会議の状況】		【産休予定の女性隊員ととなり組】	
講評			
<p>「となり組」は他の面においても効果を発揮できそうなチームビルディングの取組として評価できる。各自のワークライフバランスに関する意識の向上やお互いを尊重し意見交換しやすい環境も醸成されている。</p>			